

株主通信 (第88期 第1四半期)

2022年4月1日～2022年6月30日

Passion for the Next Innovation

～次なる革新への熱い思い～



株式会社 電業社機械製作所

証券コード 6365

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第88期 第1四半期の株主通信をお届けいたします。

2020年度からスタートした「中期経営計画2022 D-Active」は3年計画の最終年度に入りました。集大成の年度として、達成や成就などの意味を持つ“Achievement”というキーワードを掲げて、全社員の熱い思いで目標達成を目指してまいります。

ウクライナ情勢の長期化や、未だに収束が見えない新型コロナウイルス感染症の影響などから、先行き不透明な状況が続いておりますが、当社においては今まで同様に、お客様のニーズに沿った地道な営業活動と、妥協しないものづくりに努め、全社一丸となって目標達成に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年9月

代表取締役社長

村林秀晃



事業の概況

■経営環境

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、経済活動の制限の緩和が進み、米国など先進国を中心に回復基調を維持しました。一方で、長期化するウクライナ情勢や中国のゼロコロナ政策の影響による供給制約等サプライチェーンの混乱が生じ、世界的にインフレが加速するなど、先行き不透明な状況となりました。

わが国経済については、制限されていた経済社会活動が正常化に向かい、個人消費を中心に持ち直しの動きが続きましたが、円安の進行により物価の上昇が見られたほか、原材料価格の高騰や中国のゼロコロナ政策に起因する供給面の制約などから、輸出や生産では持ち直しの動きに足踏みが見られました。

■経営成績

当第1四半期連結累計期間における受注額は、国内民需部門が前年同期に比べ増加したものの、前年同期に大型案件の受注があった官需部門が減少したことにより3,218百万円（前年同期比68.1%）となりました。売上高については、前年度からの受注残による安定した仕事量が確保できたことから3,792百万円（前年同期比106.8%）となりました。利益については、前年同期に比べて修繕や更新の大型案件が多かったことなどから、営業損失は48百万円（前年同期営業損失58百万円）と若干改善し、経常利益は0百万円（前年同期比5.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同期比153.5%）となりました。

当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節的変動があります。

■通期の見通し

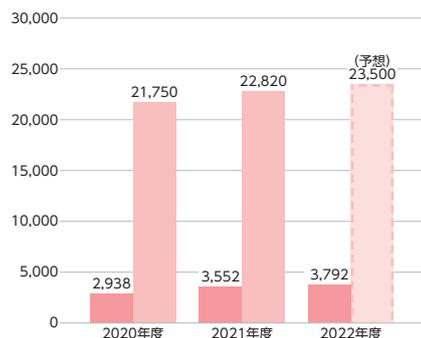
2023年3月期の当社の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありませんが、今後の社会経済情勢等、様々な要因によっては、大きく異なる可能性があります。

連結財務ハイライト

● 売上高

■ 第1四半期 ■ 通期

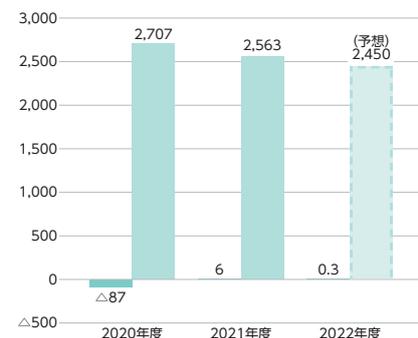
(単位: 百万円)



● 経常利益

■ 第1四半期 ■ 通期

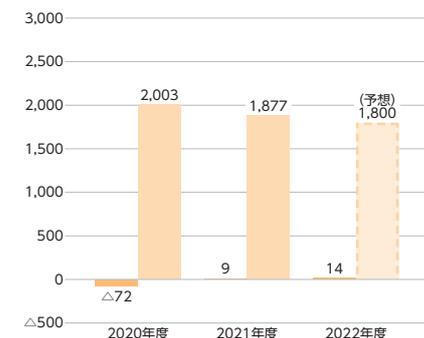
(単位: 百万円)



● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 第1四半期 ■ 通期

(単位: 百万円)



プロバスケットボールチームを通じてのSDGs活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当社が支援しているプロバスケットボールBリーグ「アースフレンズ東京Z」のホーム試合で、地元の小中学生を試合観戦に招待するイベント「キッズドリームシート」に当社が協賛し、4月16日、17日の越谷アルファーズ戦に合計で約100名を招待しました。参加した小中学生には、アースフレンズ東京Zの選手やスローガンPRキャラクター「ブイクン」と共演した当社作成の漫画冊子を配布し、チームと共に当社への理解を深めて頂きました。

また、アースフレンズ東京ZがSDGs活動の一環として行っている、廃棄衣料をリサイクルして、翌シーズンのユニフォームや練習着等を作製する「Bring Uniform」プロジェクトに賛同し、当社の作業着が昨年リニューアルされたことに伴い、不要になった古い作業着をリサイクルしました。



環境配慮技術を採用した厚生棟の建設

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



現在、当社三島事業所では、厚生棟の建替え工事を進めており、2022年6月20日に地鎮祭を執り行いました。

新たな厚生棟は、シャワー室やクリーニング室等の福利厚生設備の他、災害や緊急時に使用可能な多目的室も備えています。

また、建物は環境を配慮した「ZEB（ゼブ）※」適合の構造としており、完成は2022年12月末を予定しています。

※ZEB…Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと



全国産業機械野球大会3位、白龍旗大会（東京ドーム）に出場決定

当社野球部は、2022年6月4日、11日の2日間で開催された一般社団法人日本産業機械工業会主催の第69回全国産業機械野球大会において3位となり、来春、東京ドームで開催予定の「白龍旗争奪実業団野球東京大会（以下、白龍旗大会）」に出場することが決定しました。白龍旗大会の出場権がかかる3位決定戦では、リードされる展開から最終回に追いつき、延長10回にサヨナラ勝ちを収めました。

当社野球部は、10代から20代の若手社員が中心となって活動しています。部門の垣根を超えた野球部の活動により、部員同士の良い関係性が築かれ、日常の業務にも活かされています。今後も引き続きチーム一丸となり活動してまいります。



当社ホームページ
<https://www.dmw.co.jp/ir/>
 最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

「株主・投資家情報」検索はこちらから▼



電業社 IR 検索

